

# 遊び 熱き 仕事 心 有難う

城市 一成

夏の天領祭りで焼ソバを焼いていたことが、今も昨日の様に思えてなりません。何事もやる時は精一杯の土倉さんを目標にして商工会議所青年部を盛り上げていきたいと思えます。

若林 美知夫

私の思い出は、青年部が発足して1年経たないころに、早朝にJRC倉敷駅改札口でばったり出会いました。お互い出張に行くところで、土倉さんにどちらへと声をかけると、「東京へ」との返事。ただこれだけです、なぜか鮮烈に覚えています。

島田 弘之

初めて花やで話をした。たった三年余りの間でした。頼りになる兄貴であり、みんな好きだったおっさん。天国でゆっくり休んでください。できることならもう少し一緒にいてほしかった。

大山 雅章

仕事への情熱を教えてください。くださった素晴らしい方でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

岡 英利

入会当初より、何かにつけて声をかけて下さったやさしい土倉さん、これからも倉敷商工会議所青年部のすべてのメンバーを温かく見守って下さい。

藤原 正敬

年の差は有りましたが、仲間として、先輩として、いろいろ教えて頂き本当にありがとうございました。斉藤 浩章



土倉直前会長から小松原経営委員長へ送られたメールです



7月28日、天領夏祭りにて

2001年8月30HAM9:00

送信者土倉一彦

商工会議所青年部が倉敷の天領祭り参加についての案

1. 踊りに参加している企業・団体と同じように踊りで参加高校生・大学生等の一般参加も含め未来のメンバーとの交流を深める
  2. 独自のステージを作り学生中心に踊りコンテストをしてはどうか
- 二件の提案しかできませんが、なにか独自のことがしてみたいと思います。短期間で成功させることは無理かもしれませんが、皆さんで力を合わせれば出来ると思います。

以上が青年部についての最後のやり取りです。

故土倉直前会長は、未来の青年部の増員計画や、一般参加の踊りを考えてくださっていました。我々残された委員で、故土倉直前会長が思い描いてできなかった事を真剣に考えて、今後土倉さんが育てた青年部を輝かせていきたいと思えます。

土倉さんは、我々三十代の意見に素直に身を傾けて下さる方でした。この5年間仕事もお忙しい中、青年部に力を注いでいただき、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

倉敷天領祭りでは、第1回目に朝から夜まで焼きそばを焼いていた感謝しています。

本当にお疲れ様でした。またお会いした時に怒られないように頑張ります。

小松原 博幸

私が、土倉直前会長と初めてお会いしたのは、平成8年9月倉敷YEGが設立されたときでした。

しかし土倉直前会長と初めてお話をさせていただいたのは、それから3年後だったと思います。私がYEG活動に少しなれた頃でした。当時、会長をされておられた土倉さんは、「このYEGは、もう少し全体がまとまって、メンバーが気軽に出来るようにしなければいけない。」そして「若いメンバーの人たちが、何でも話せて、活動しやすいく環境にしてくてはいけない。」とも言われました。そこで、そういう理由から私を副会長にと推薦、承認してくださいました。

今思うと私は、土倉直前会長の期待に全く応えられなかったと思います。それどころか、副会長をさせていただいたお陰で、私はいろいろな経験をさせていただきました。ここで改めて土倉直前会長にお詫びと、お礼を申し上げます。すみませんでした。そして、本当に有難うございました。

中田 一広

土倉直前会長！お疲れ様またご苦労様です。しかし、少し早すぎます。我々も後から行きます。

それまでしっかりと黄泉の国の楽園を開拓してくださいよ。それを楽しみにしております。 **くろうさまでした。**

小野 泰司

ただ、ただ前向きに青年部を引っ張っていかれた姿が印象的でした。またトクラ杯ではお世話になりました。

稲見 一郎

約1年という、短い期間でしたが大変世話になりました。高いところから、見守って下さい

西 庸介

いつも、厳しい人でしたがときより見せる心配りが土倉さんらしくていなくなったのが、さびしいです。

小野 智彦

最後にお話し屋さんで偶然お会いした時の笑顔を忘れることができません。心よりご冥福をお祈り致します。

植木 二行

存在感、いつでも大変感じられた方でした。ご冥福をお祈りいたします。

日下 巧

「キー坊：」今でも貴方の呼ぶ声が聞こえてきそうな気がします。魅力溢れる素敵なお兄さんでした。でも、今呼ばれてもまだそちらへは行きませんよ。ゆっくり休んでください。

中村 公彦

仕事に遊びに、こんなに元気な人がいるんだと、私も頑張ろうと勇気付けられました。

平井 強